



KAREN ADAMS



カレン・アダムス。連邦共和国出身。
職業、警察官。身長一八五センチ、体重七五キロ。



現在、彼女は研修で同僚と共に友好国である東方の島国に赴任している。
そして非番の日にはネオン輝く都会の一步奥、母国で言う所のスラム街に彼
女の姿はあった。ある目的の為である。

その街には非合法の地下闘技場が点在しており、それに伴う違法賭博が横行していた。

その中でも最も人気のあるアリーナに彼女は選手として登録され、度々試合に興じていた。しかし、単に参加する事が彼女の目的ではない……。



その格闘イベントの裏で暗躍する、とある危険な薬物の摘発が目的だった。

んな薬物ホントに存在すんのかよ……。軽めの興奮剤みたいな奴じゃねーのか？



か：科学的にも立証されてるんだよ。被害者を見た訳じゃないけど……。



そんないつもの試合前の
控室だった。

よお…お前か？
最近この辺で幅きかせ
てる銀髪の黒豹って
メスは…。

豹って割には良い尻
してんじゃねえの。

どうだ？
俺とミックスマッチ
やんねえか？

この豚が…

オオオオオ





や、やめる!!
俺はこの闘技場
の幹部だぞ...



ていうか
誰だ? お前。

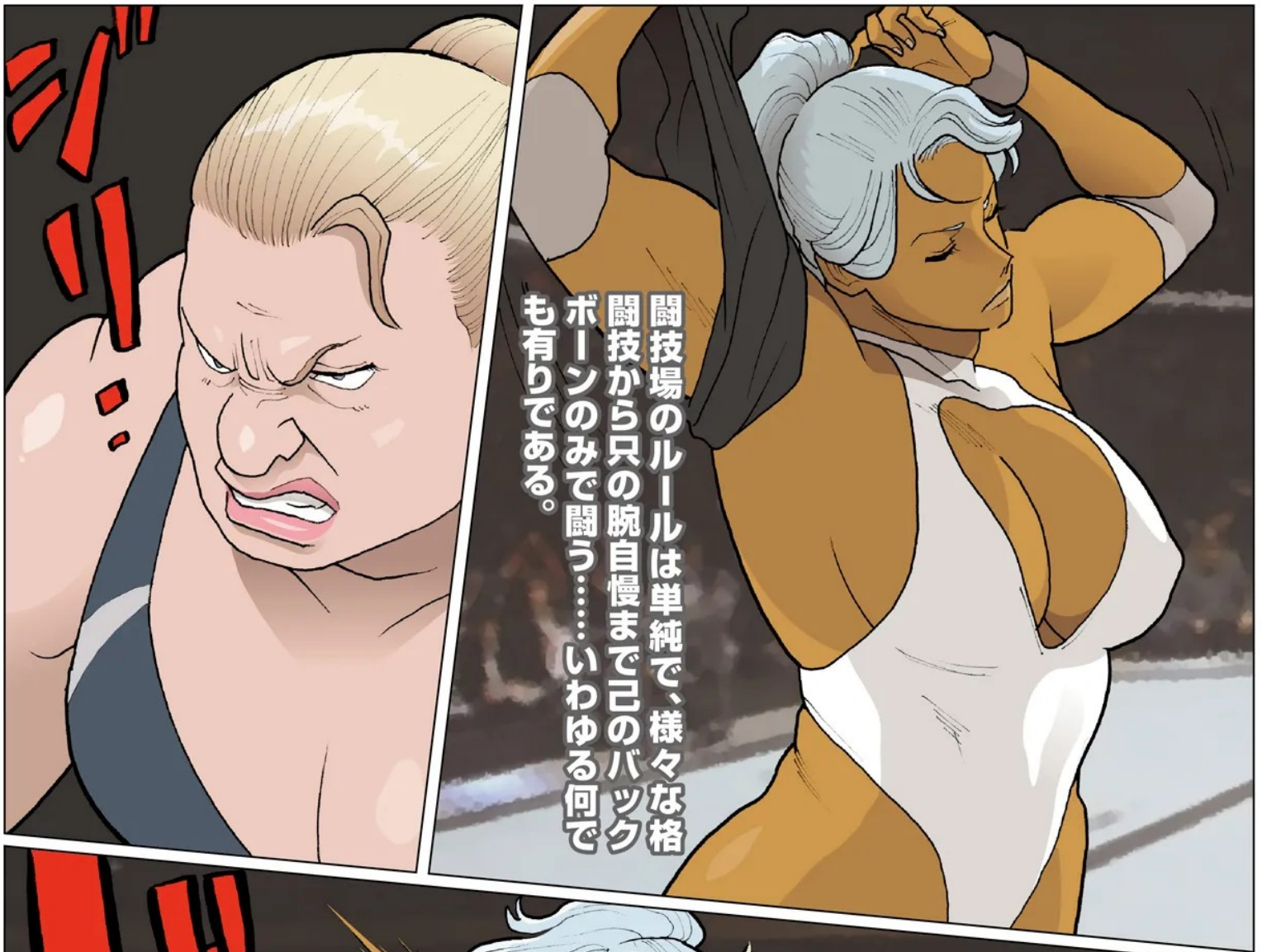


今日は注目の対決だぜ!
さあ、張った張った!!

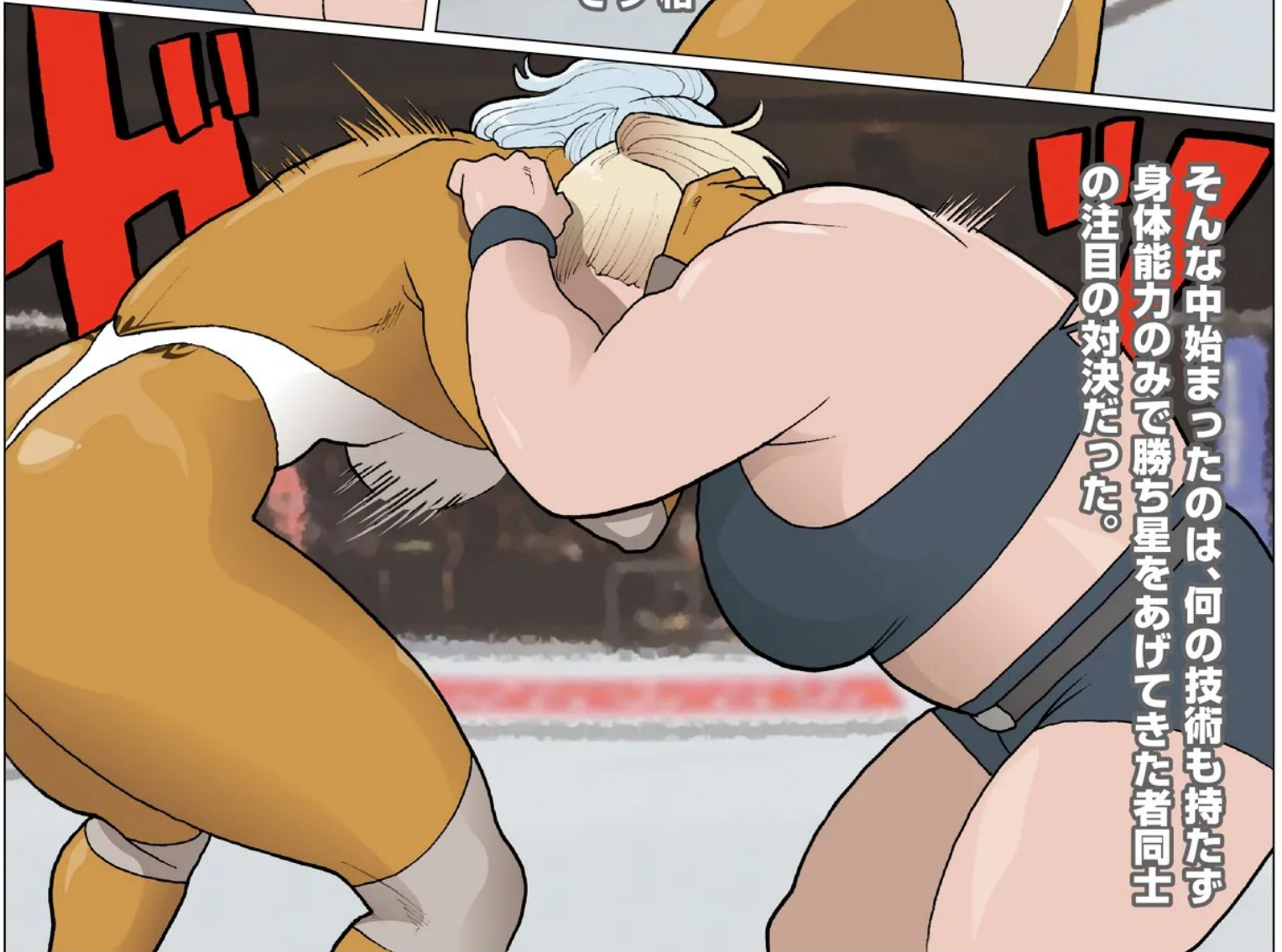


いらぬー労働
せせんじやぬーよ。



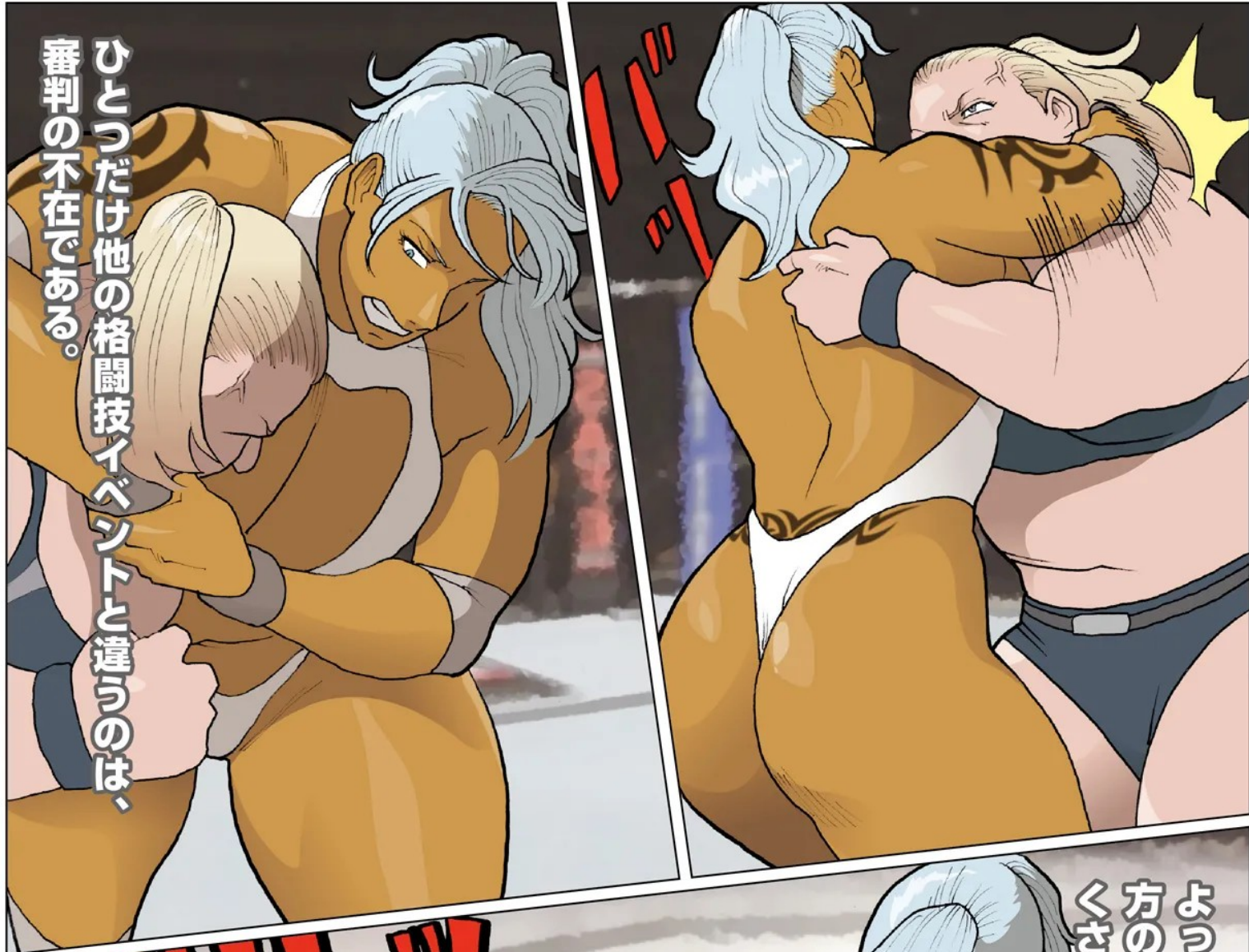


闘技場のルールは単純で、様々な格闘技から只の腕自慢まで己のバックボーンのみで闘う……いわゆる何でも有りである。

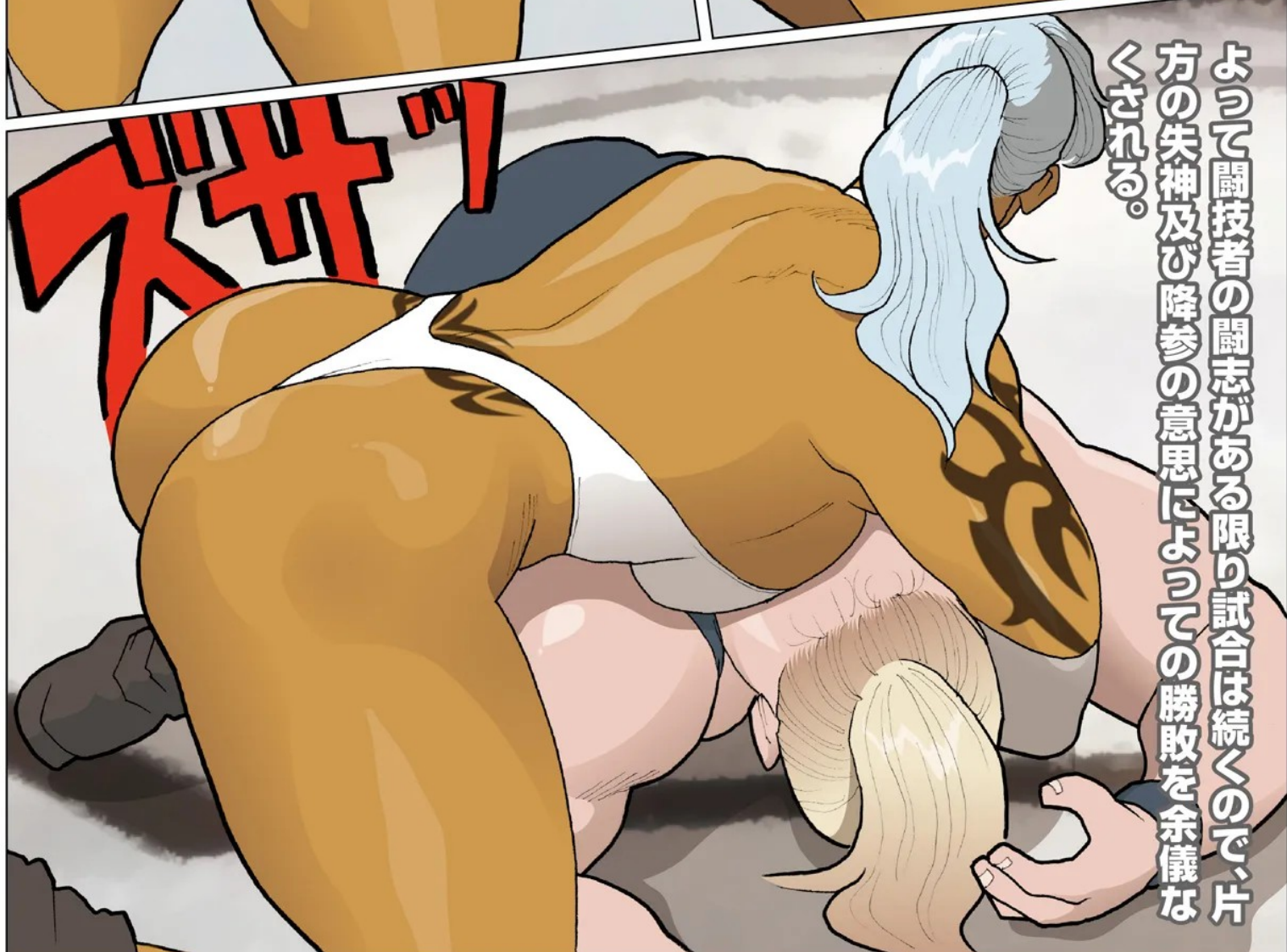



そんな中始まったのは、何の技術も持たず身体能力のみで勝ち星をあげてきた者同士の注目の対決だった。

ひとつだけ他の格闘技イベントと違うのは、
審判の不在である。



よって闘技者の闘志がある限り試合は続くので、片
方の失神及び降参の意思によつての勝敗を余儀な
くされる。





試合の方は…俄然白のボディスーツのカレンが有利に展開していた。彼女の持ち味は、パワーと身体能力で相手の長所を早々に潰す所にある。



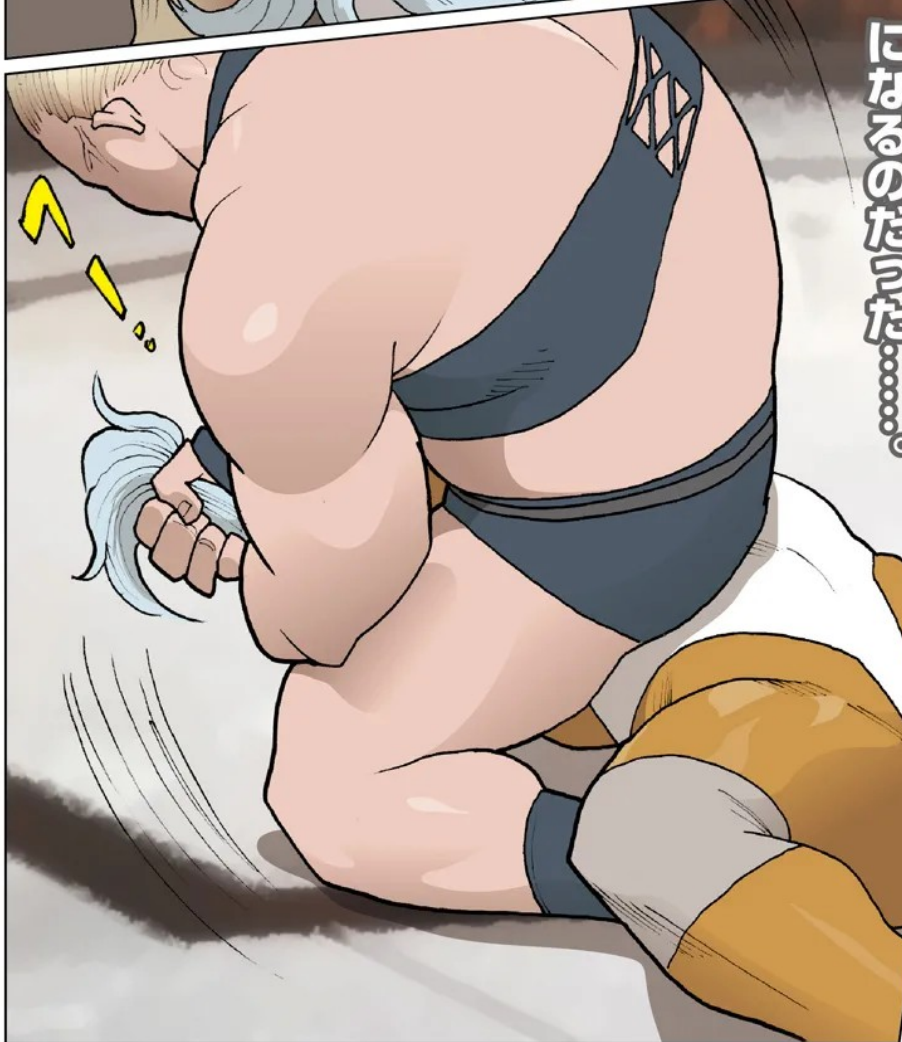
事実、彼女のオツズ・人気は高い。男顔負けのファイトと鍛え抜かれたボディに色気を備える露出の高いコスチュームもその理由だろう。



ただしパワーの面では相手の黒のボディスーツの
ボア・パインも負けてはいない。



ガッ



故に今回のマッチメイクのコン
セプトもパワー対決だった。
ただ開始前にカレンが感じてい
た、相手の雰囲気の違いが次第
に試合の展開を狂わせていく事
になるのだった……。



クッ

次第にグラウンドの攻防でボアの方が主導権を握り始めた。

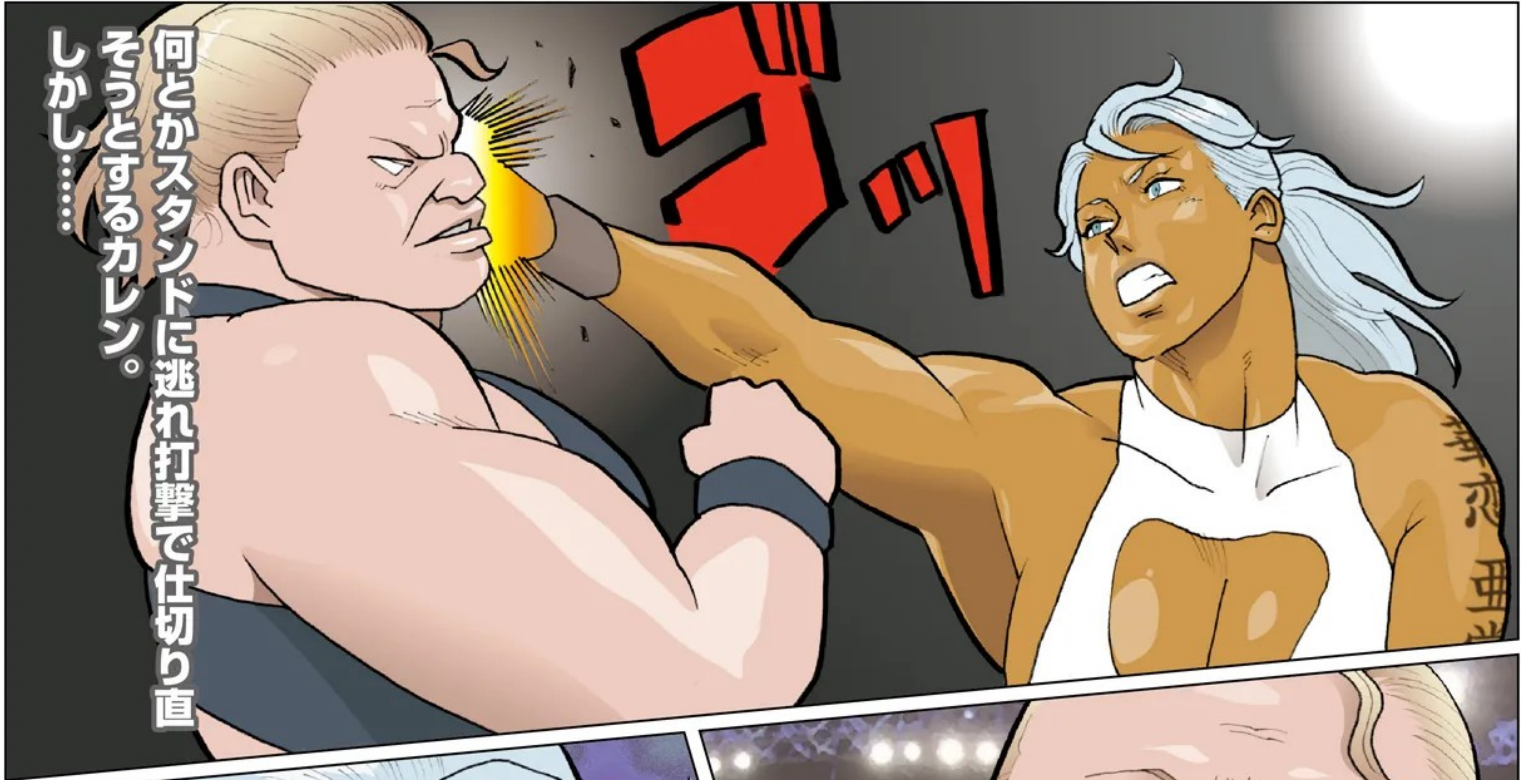
ゴ
ッ
ゴ
ッ
ゴ
ッ

決してカレンは寝技に対するディフェンスが不得手なファイターではない。

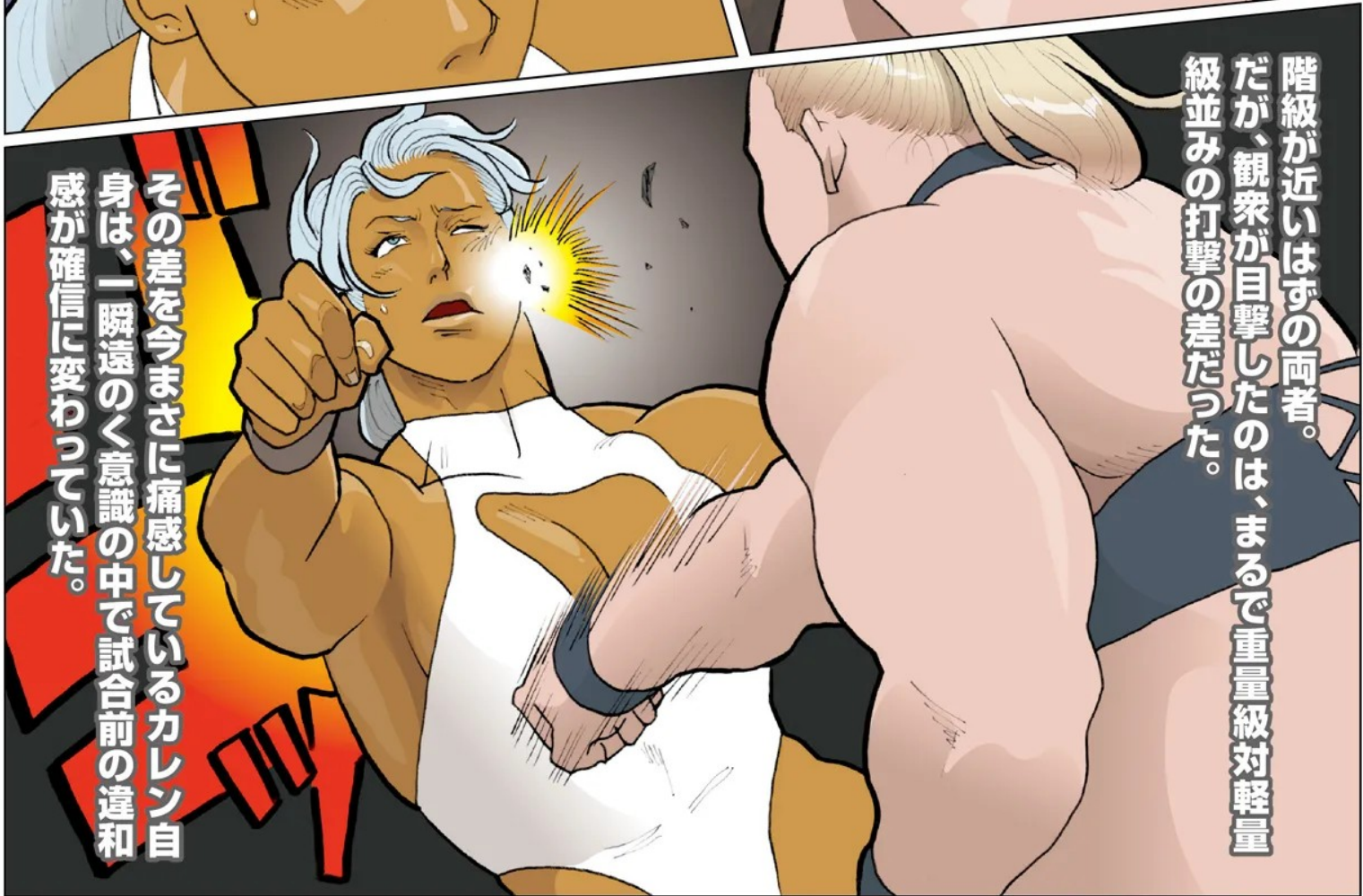
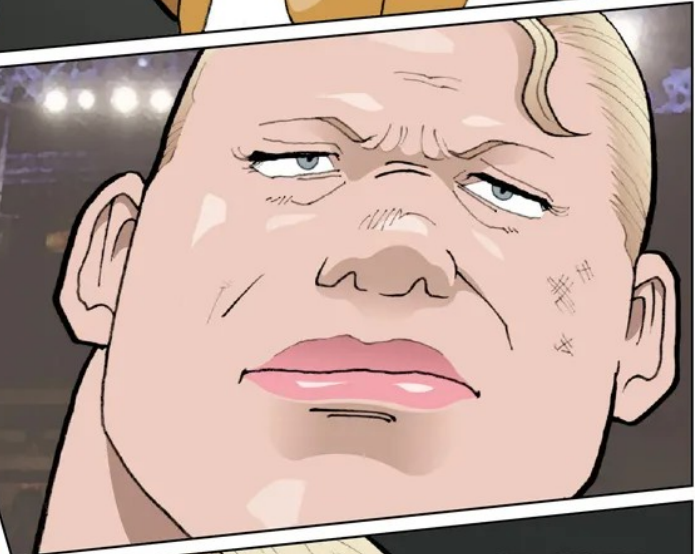
しかし常に不利なポジションを強いられる彼女の体力は徐々に削られて行く。

華恋 亜當



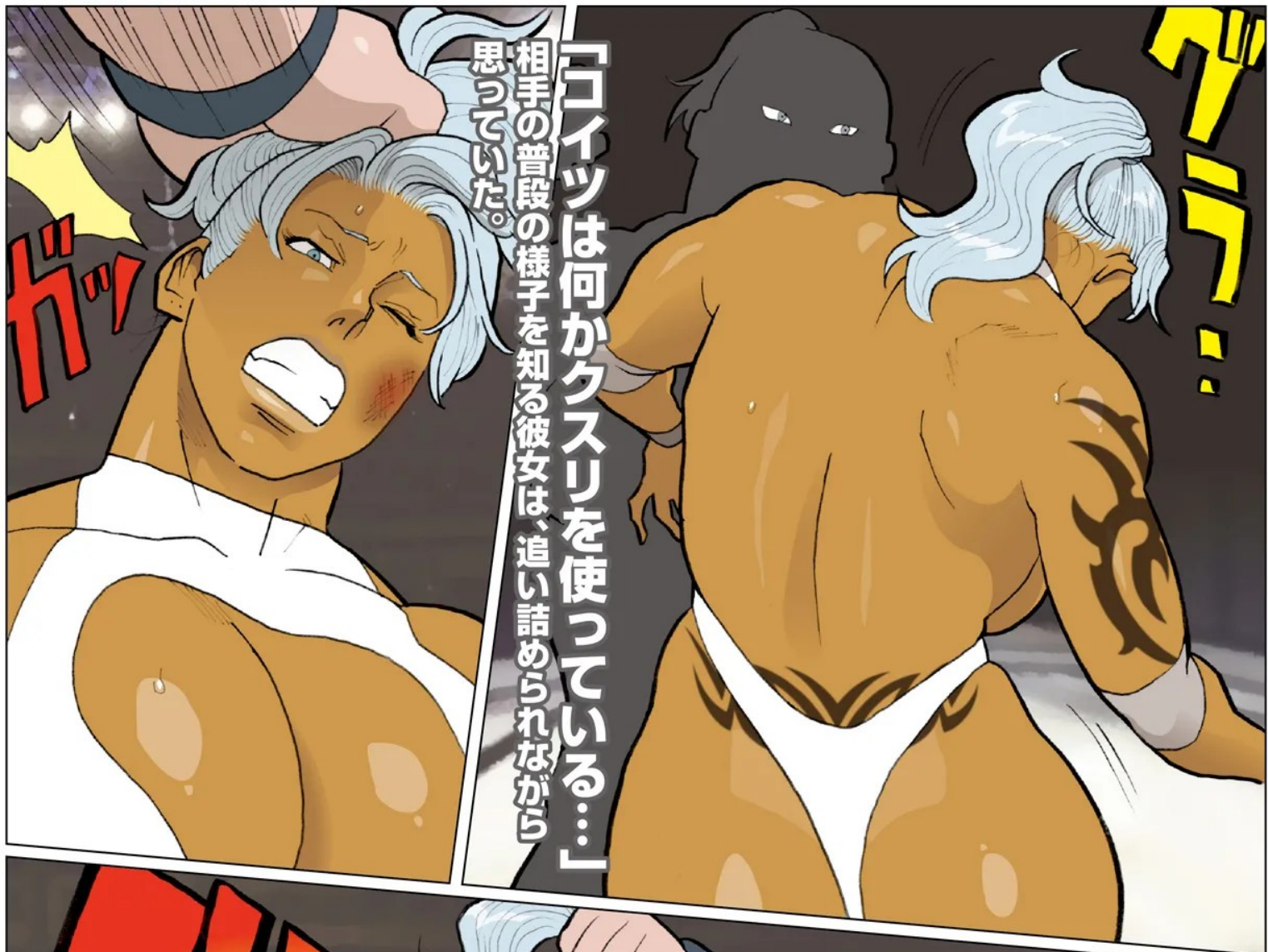


何とかスタンドに逃げ打撃で仕切り直そうとするカレン。しかし……



階級が近いはずの両者。だが、観衆が目撃したのは、まるで重量級対軽量級並みの打撃の差だった。

その差を今まさに痛感しているカレン自身は、一瞬遠のく意識の中で試合前の違和感が確信に変わっていた。



「ゴイツは何かクスリを使っている…」
相手の普段の様子を知る彼女は、追い詰められながら
思っていた。

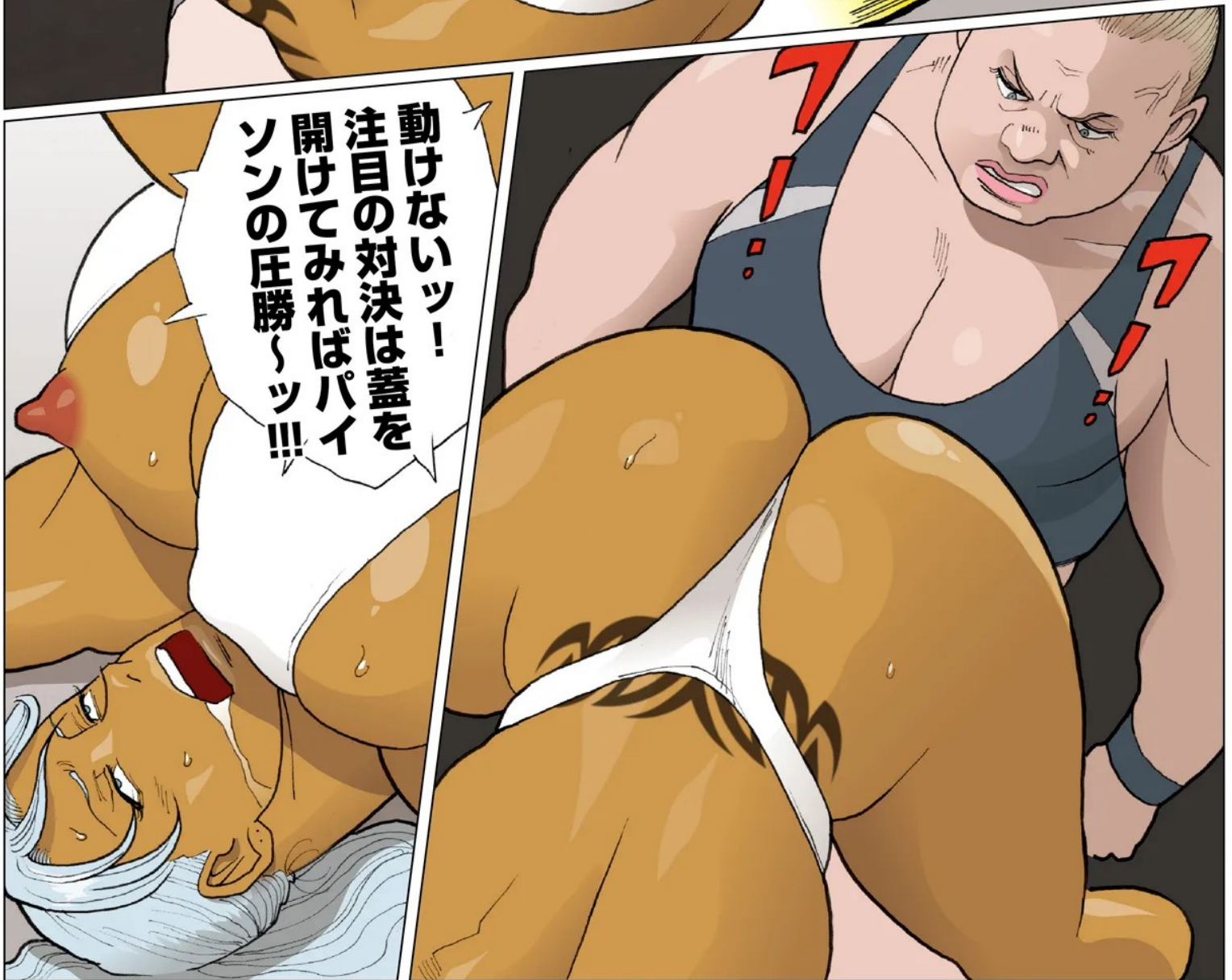
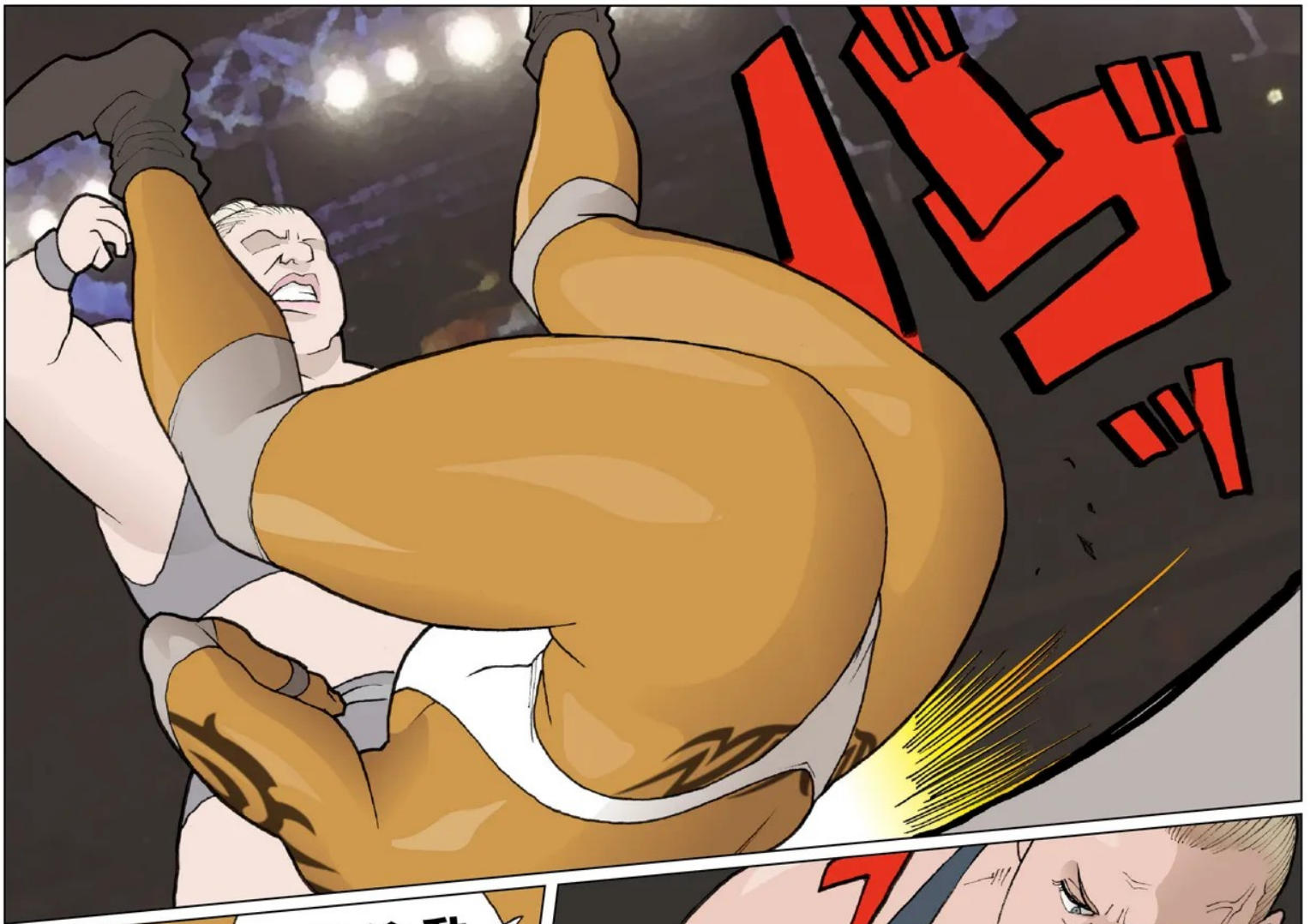


すでに試合が始まって30分が経過していた。
そして現在は黒いボディスーツの女の一方的な状況と
なっている。それは決して白い方が防御で凌いでいると
いう事ではない。

筋肉麗しい背
中や尻も露わ
な獲物の女は、
まともにダメージ
を受けていた。
そもそも彼女の性格上
降参する柄ではない。
しかし今はそれが仇となっ
て公開リンチさながらの試合
が衆目に晒されていた。

やがて訪れるであろう決着の時は
突然やってきた。

フィニッシュムーブは、およそMMAでは有り得
ない…えげつない角度からたたき落とすボディス
ラムだった。



動けないッ!
注目の対決は蓋を
開けてみればパイ
ソンの圧勝ッ!!!

へへへ：
良いカツコウだな
カレン。

クチャッ！
クチャッ！
クチャッ！

テメエ：
何の冗談だ？
洒落んなくてねーぞ。

クチャッ！

な…何を!?
何を射ちやがった!!?

冗談じゃねーぜ。
何故こんな目に遭っ
てるか、身に覚えが
あり過ぎるだろ？

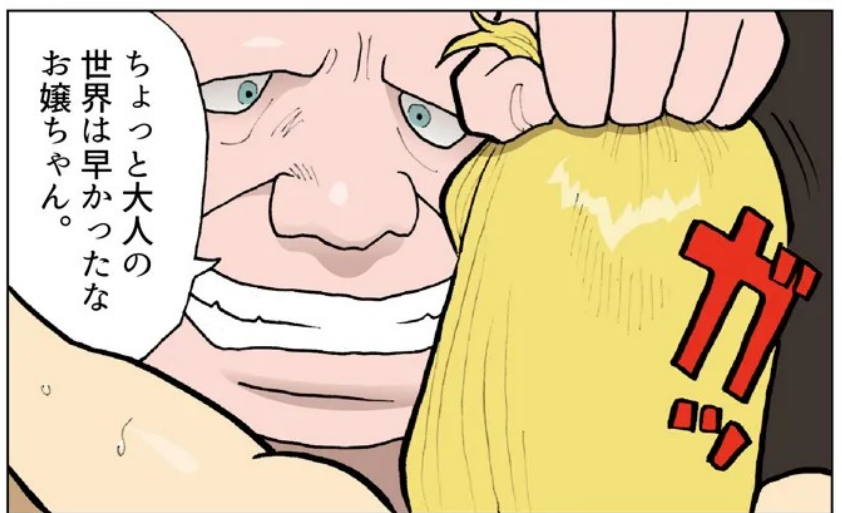
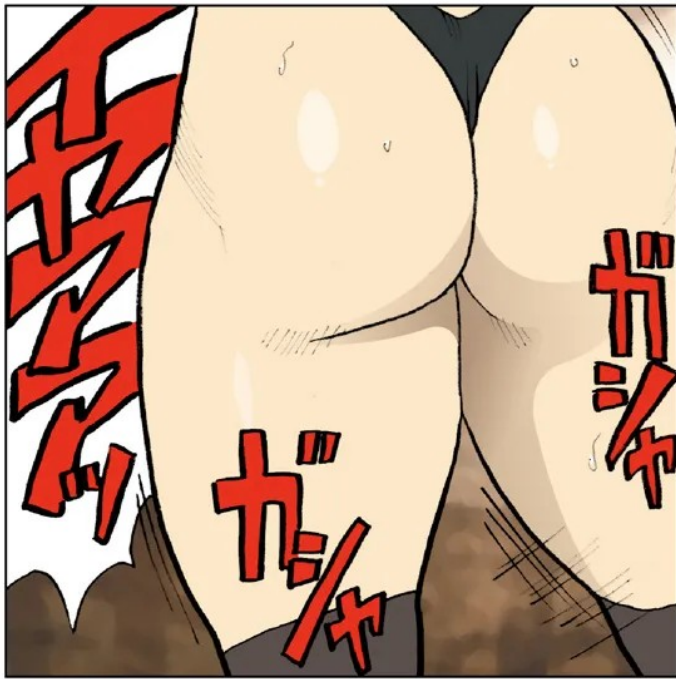
黒虫 聖妻

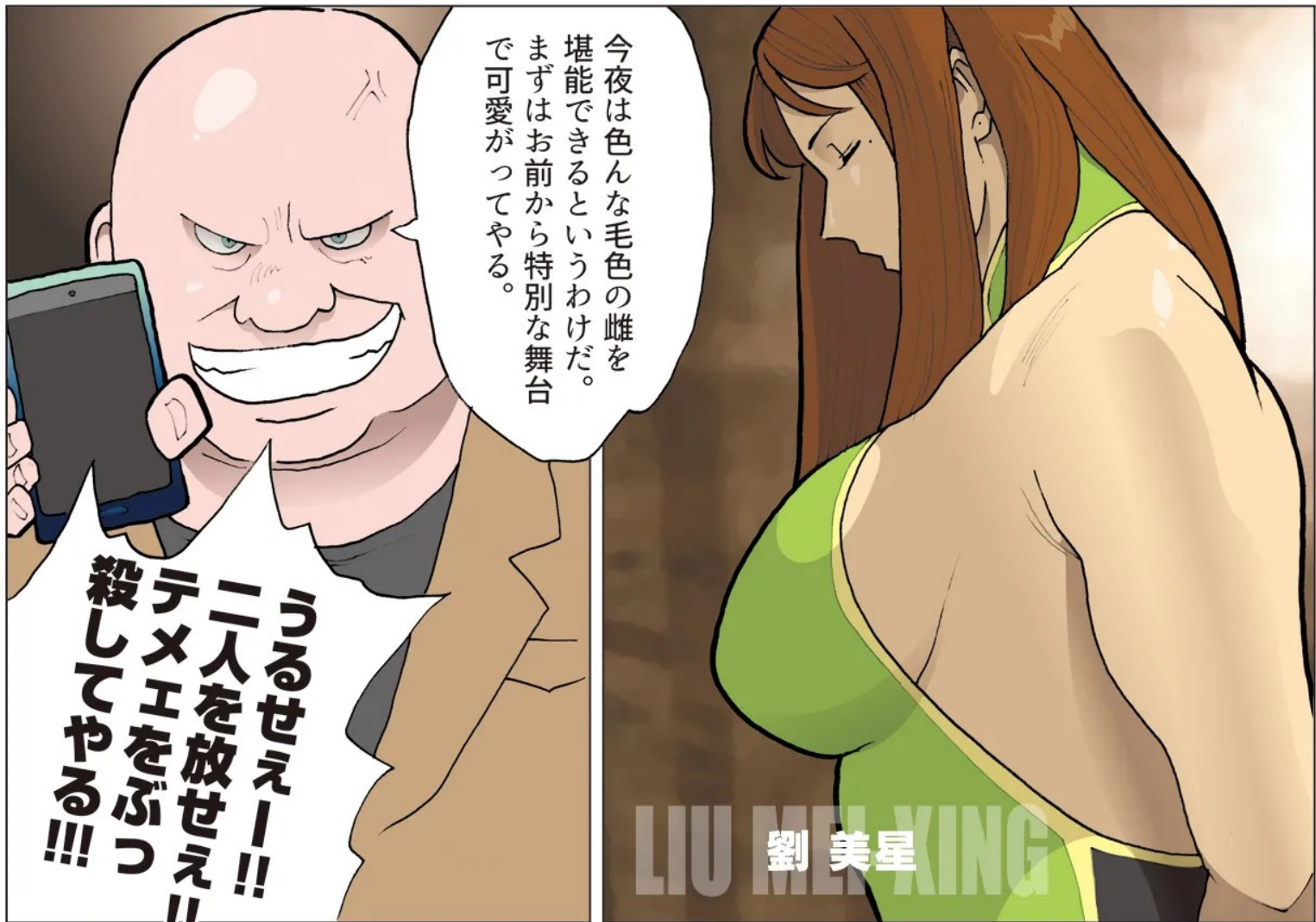
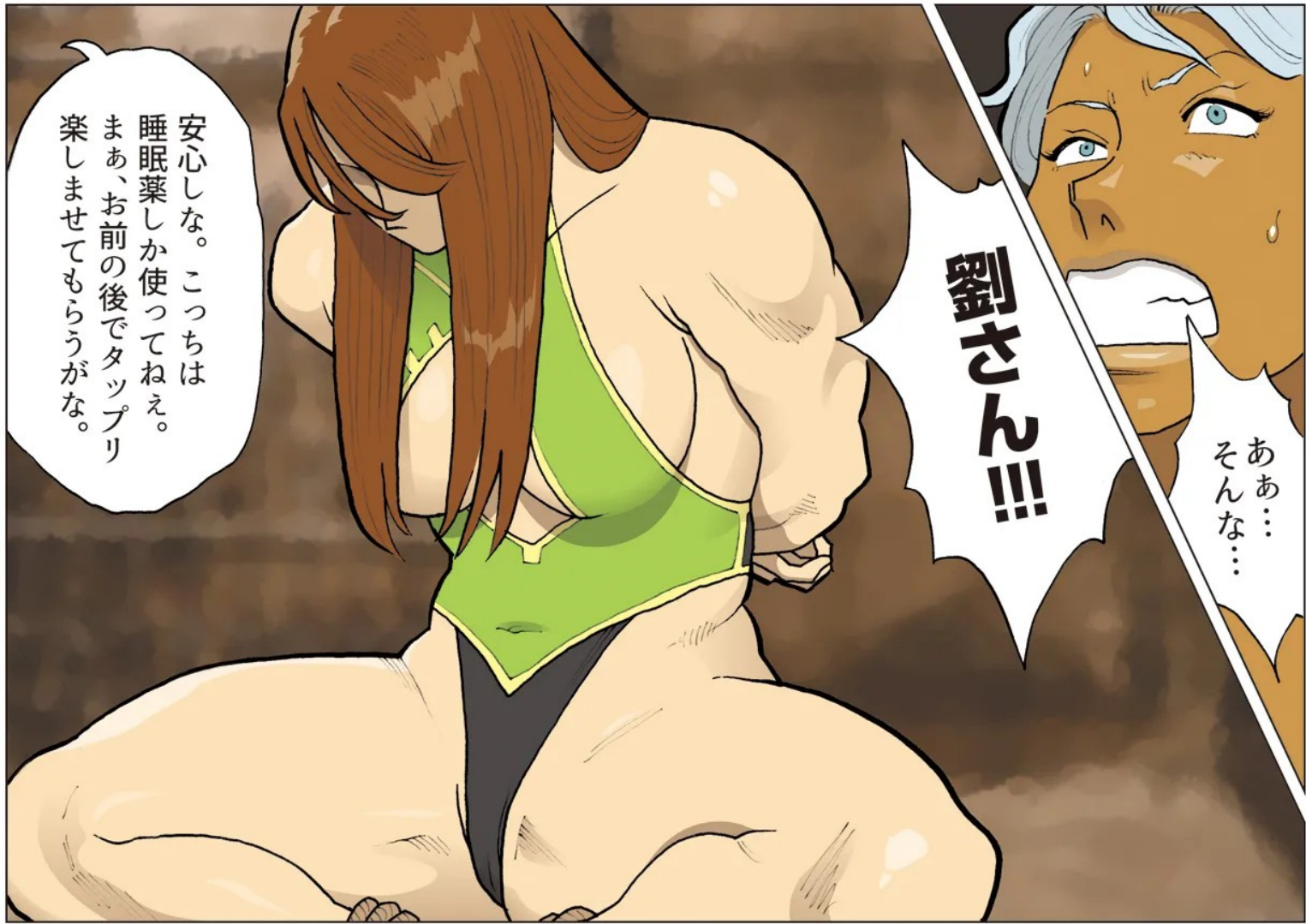
ズッ！

知りてえか？

そいつは、間分けの無い
女豹を従順に馴れる為の
下準備さ…。

ズッ！







クウッ!
タ...タツプ
しても許さ...
ねえぞ.....

グへへ...
それで絞めてんのか?
柔らかいモンが当たっ
てんぜえ。



ち...力が
全然入らねえ。
このままじゃ...

グッ

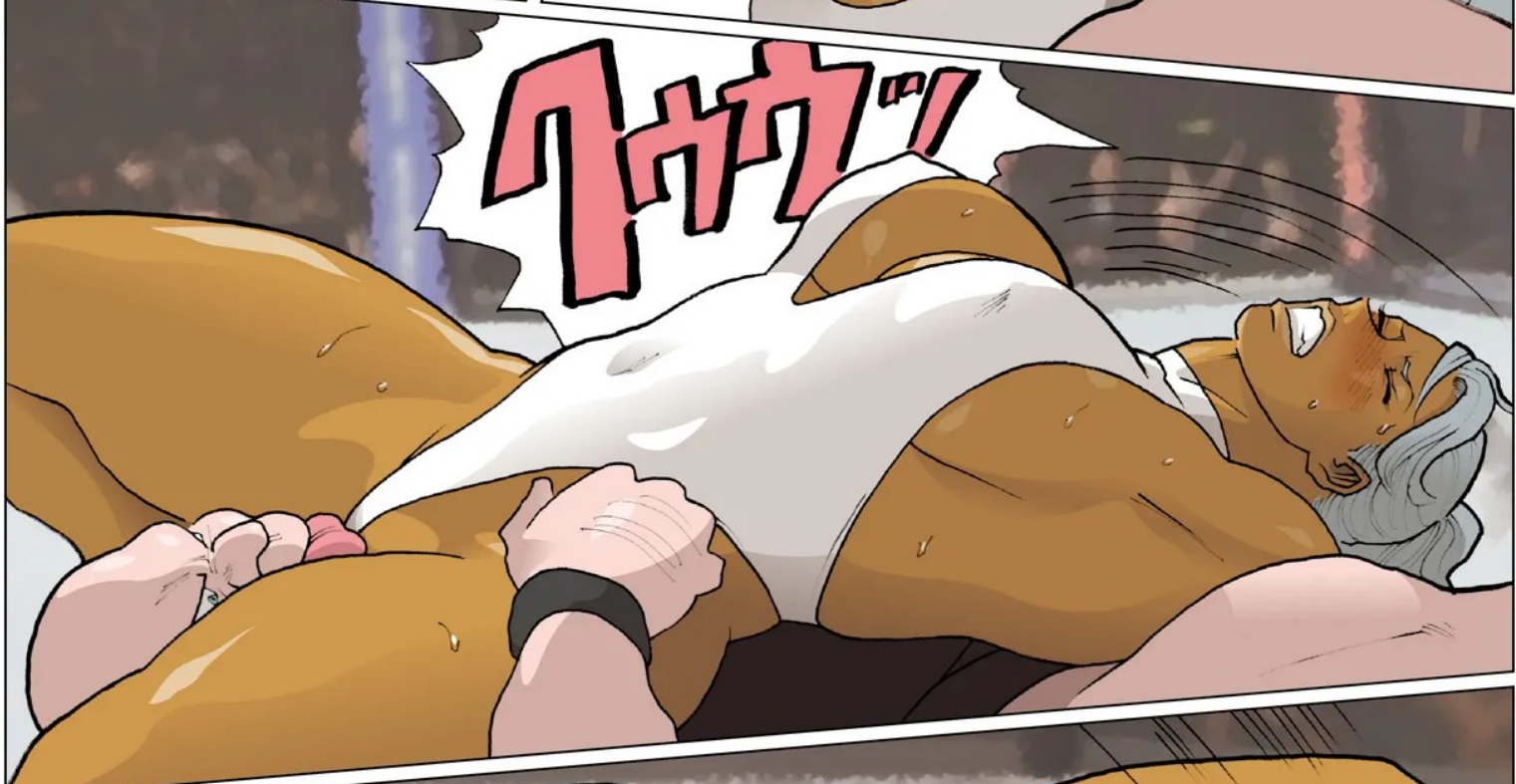




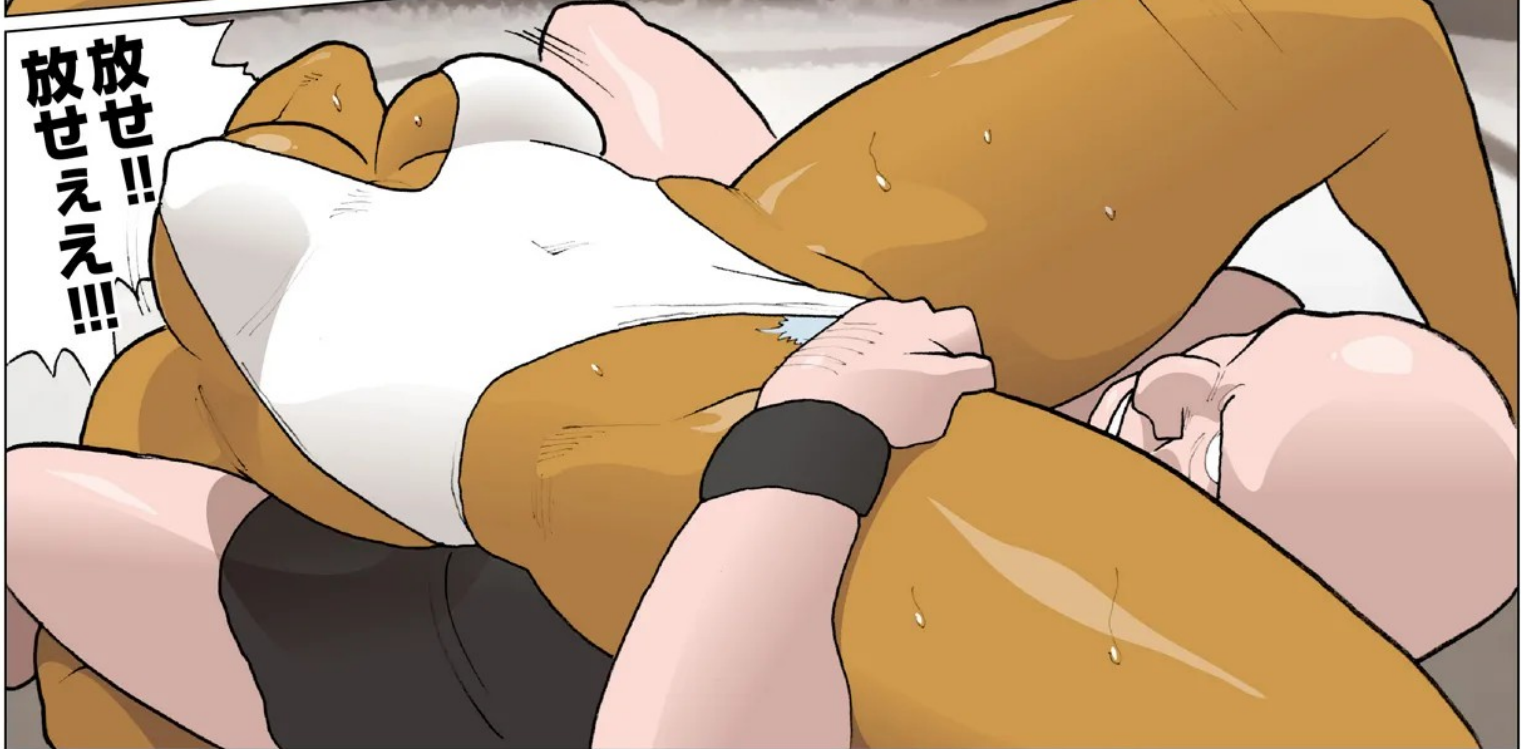
へへ…声の上擦つてんぞカレン。



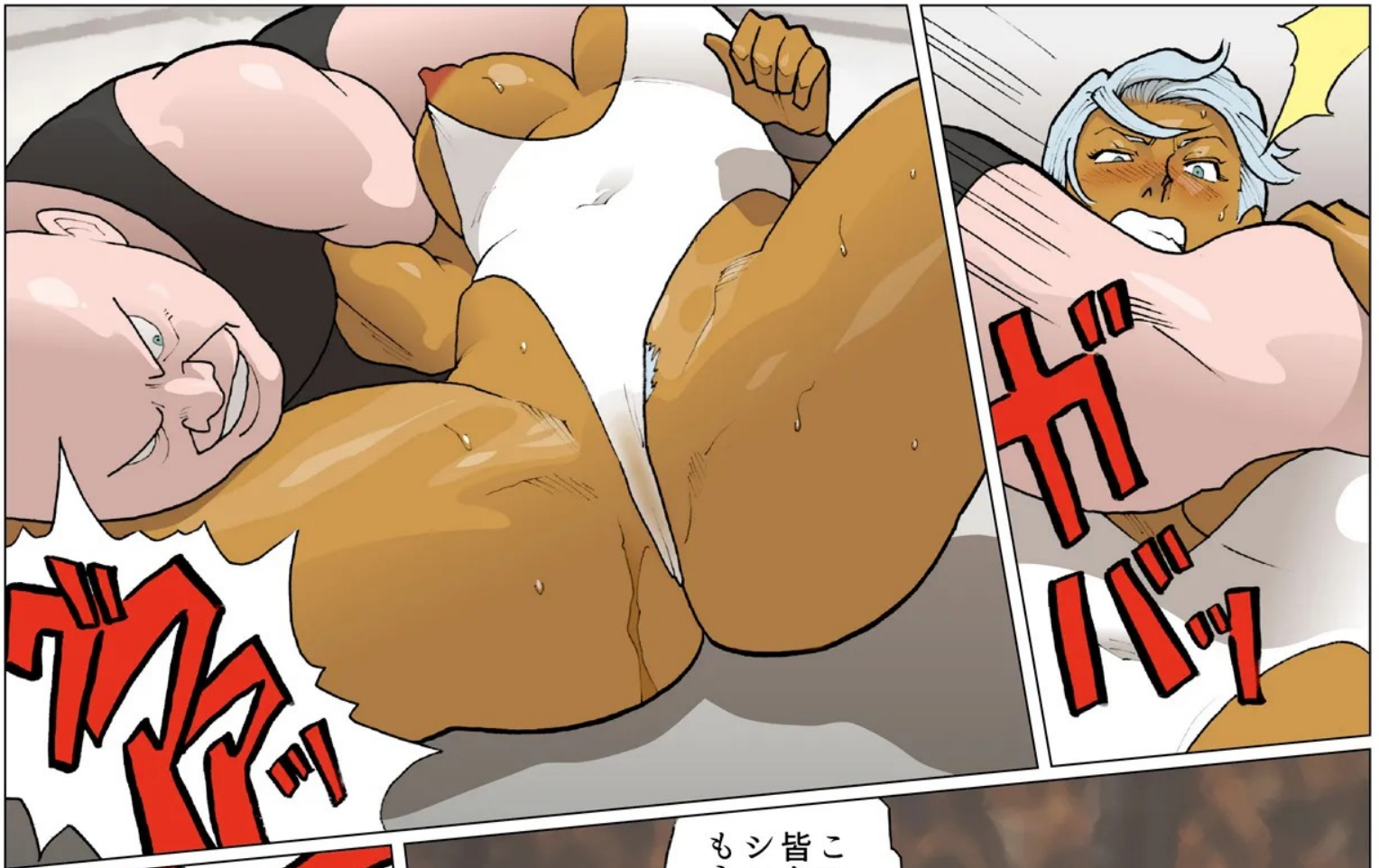
おいロリンあ!!
いい加減にこころあま!!!



アウウウ!



放せ!!
放せええ!!!





こ…こんな…
密着した…だけで
イっ…ちまった…。



寂しい事すん
じゃねえよ。
俺がちやんと
相手するぜえ。

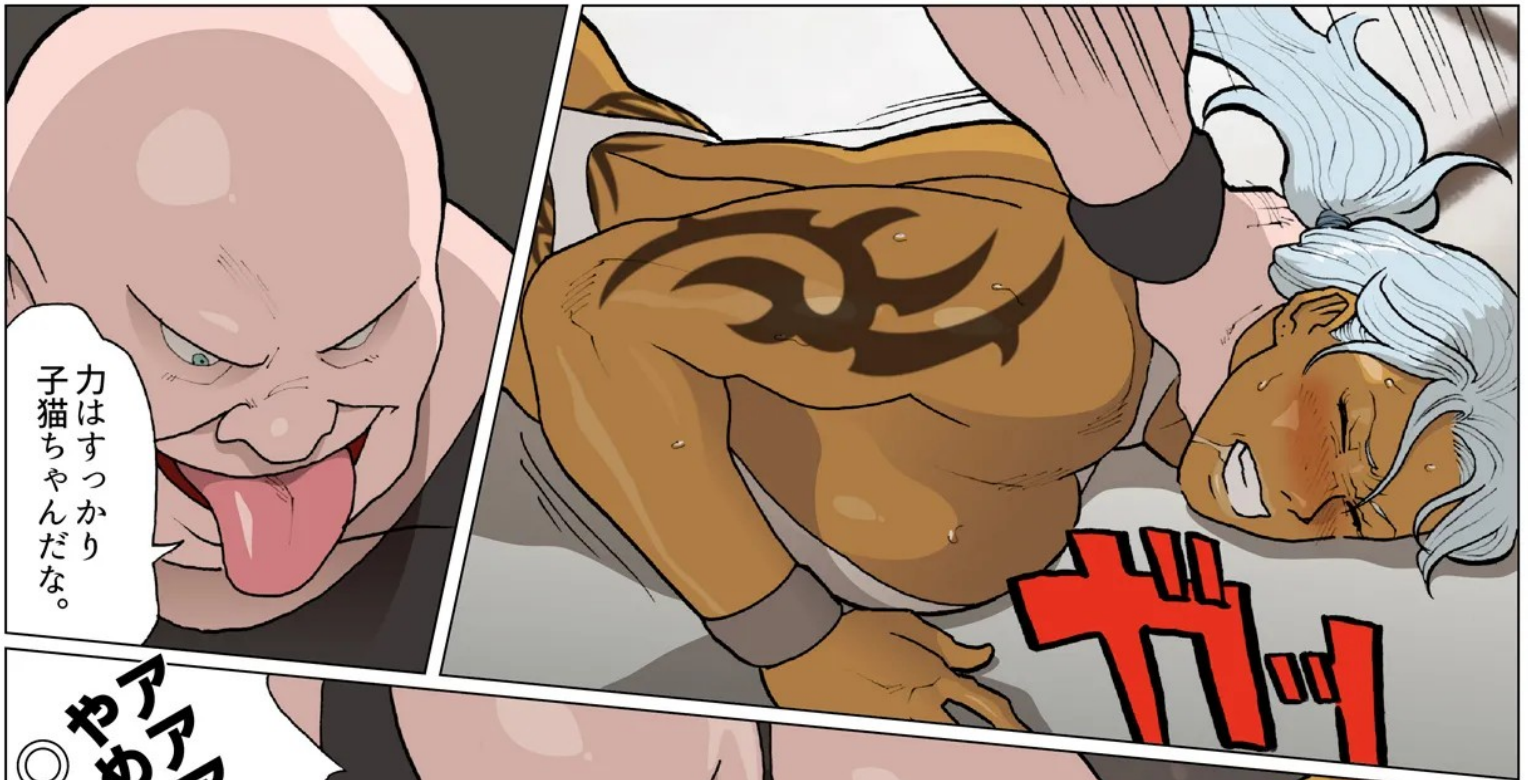
バカ…違…。



俺は…
カ…

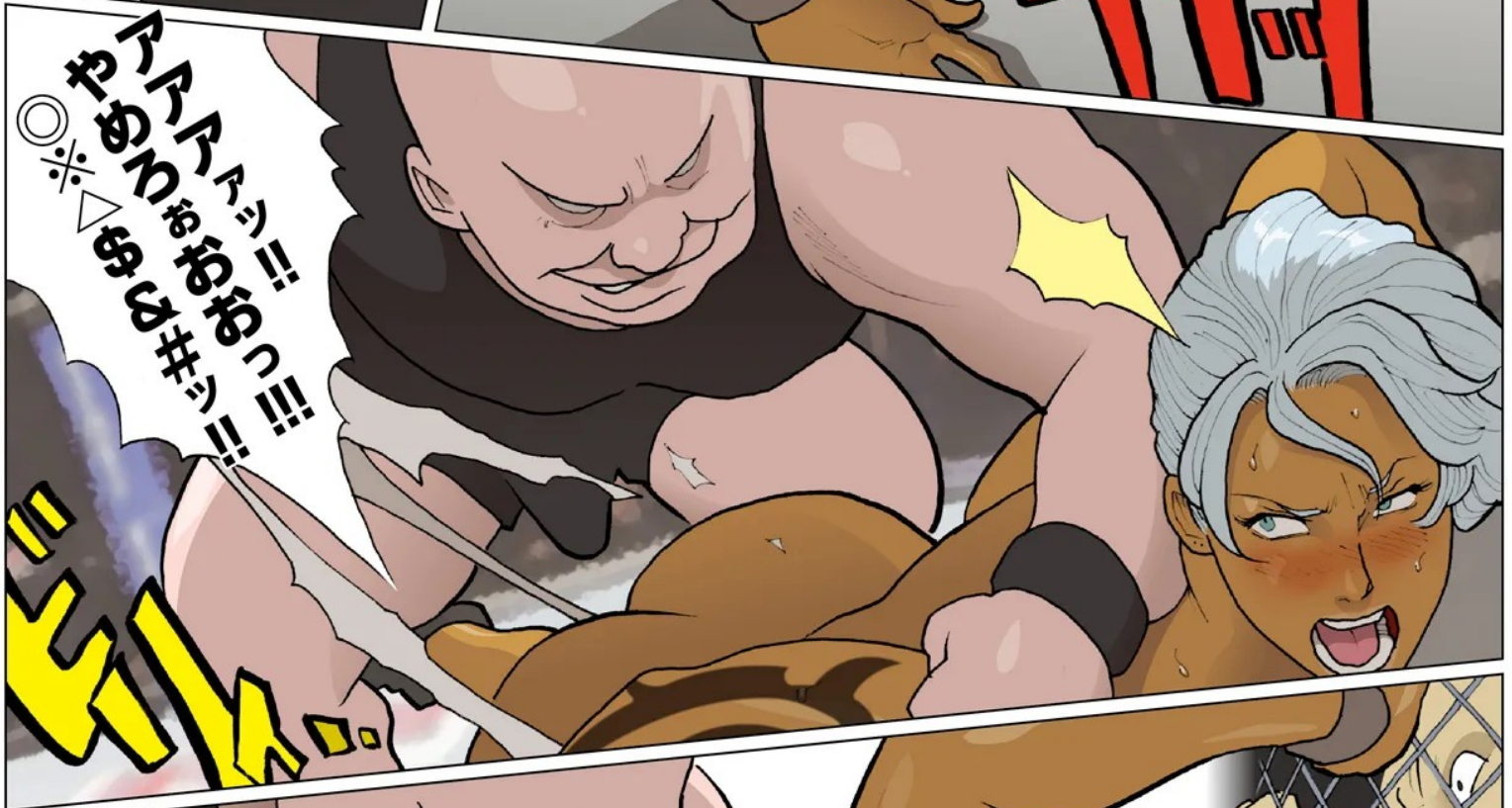
おい見よ
自分…

ア



力はすっかり
子猫ちゃんだな。

ガッ



ウッウッウッ!!!
やめろももも!!!
ウッウッウッ!!!

ウッ



よおカレン!!
もつとイキ顔を
近づけるよ!!!
次は俺らが相手
してやるから
よおおお!!!



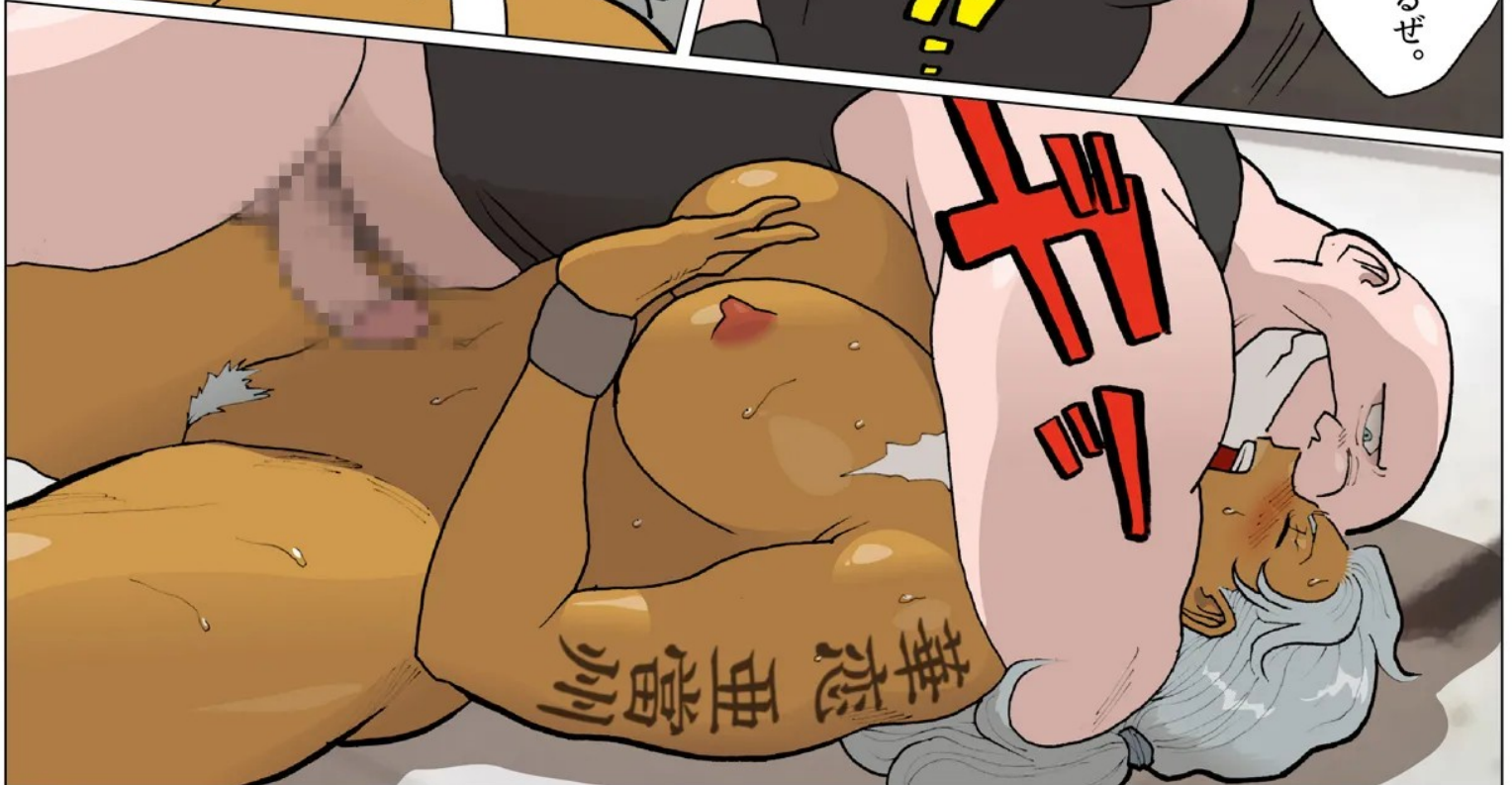
NOOOO!!
触るなあ
あなあ
離れるお!!!
おおお!!!



あ...あ...
やめる...
んなモン
出すんじや
ねえ.....



堪らねえ...へへ。
今、ブチこんでやるぜ。



ギ

華恋 亜當利

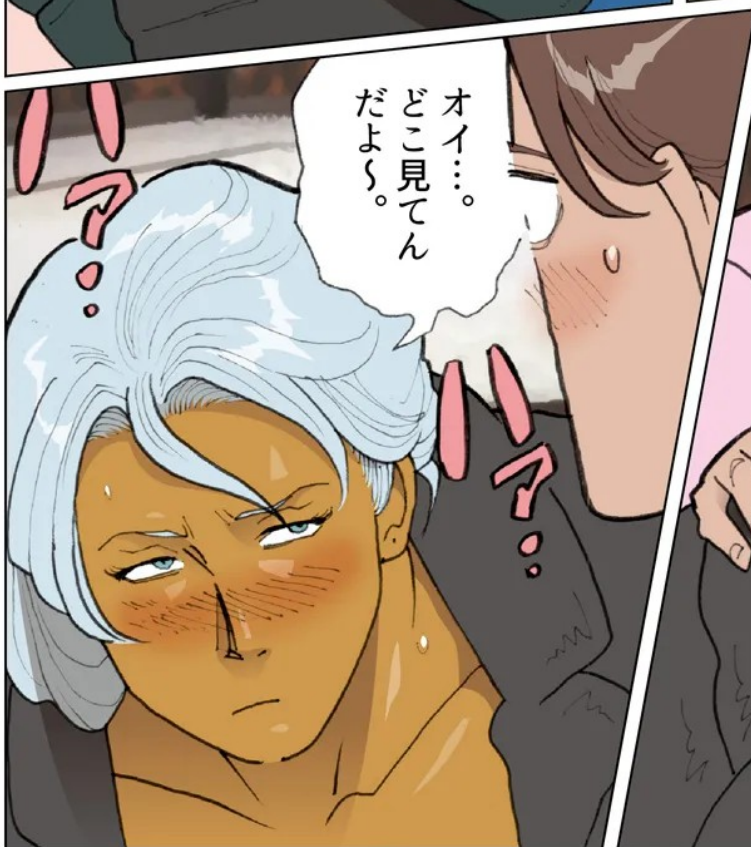


アホか!
現行犯じゃあ
ボケええ!!

くそお..
俺が何したつ
てんだよ



警察だツ!!
全員そこを
動くなツ!!



オイ..
どこ見てん
だよ。



カレン。
だ..大丈夫
かい?



大丈夫。
保護された兩名は君の
知ってる登録選手だと
報告が来てるよ。



報告します！
監禁されていた
女性二名を保護
したと連絡を受
けています。

あ、そうだ！
劉さんと
シルビアを
助けなくちゃ！！



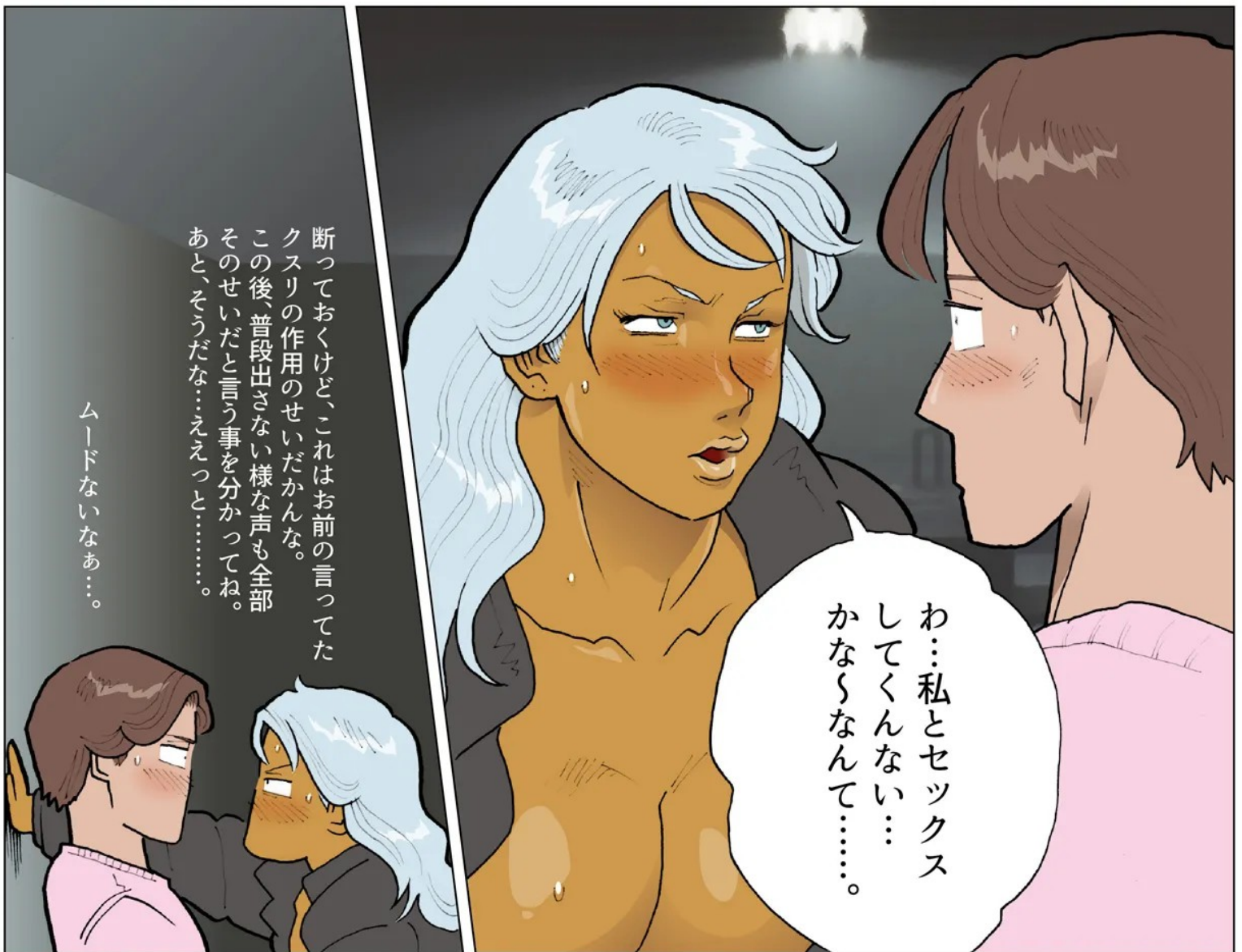
さすが、劉さんだな……。
あのヒトには
敵わないなあ……。



正確に言うと、
アジア系の女性が
もう一人の白人女性を
介抱している所を
発見したらしいんだ。



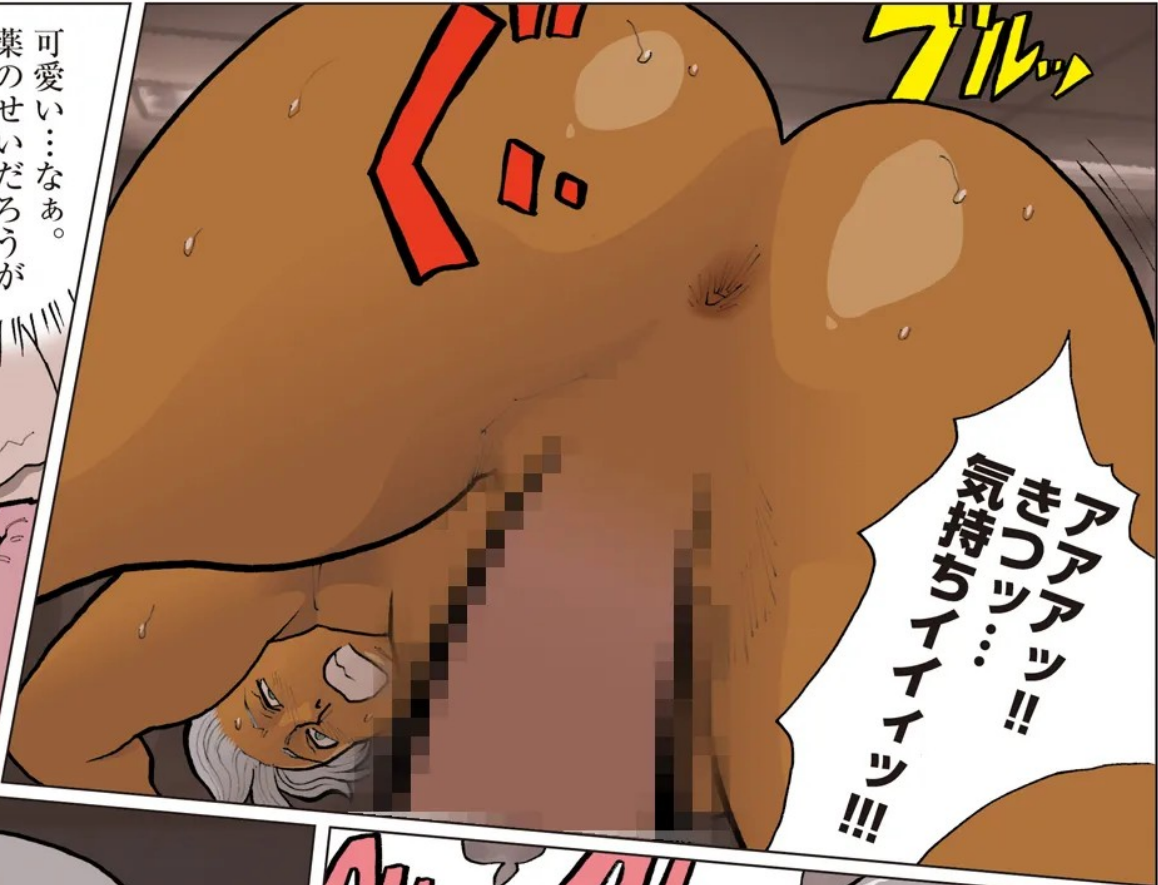
しかも、監禁現場と思われる部屋に
数人の男性が倒れていたんだけど、
不思議な事に外傷らしいモノは見当
たらないんだって……。





ご…ごメンな
こんな成行きで…。

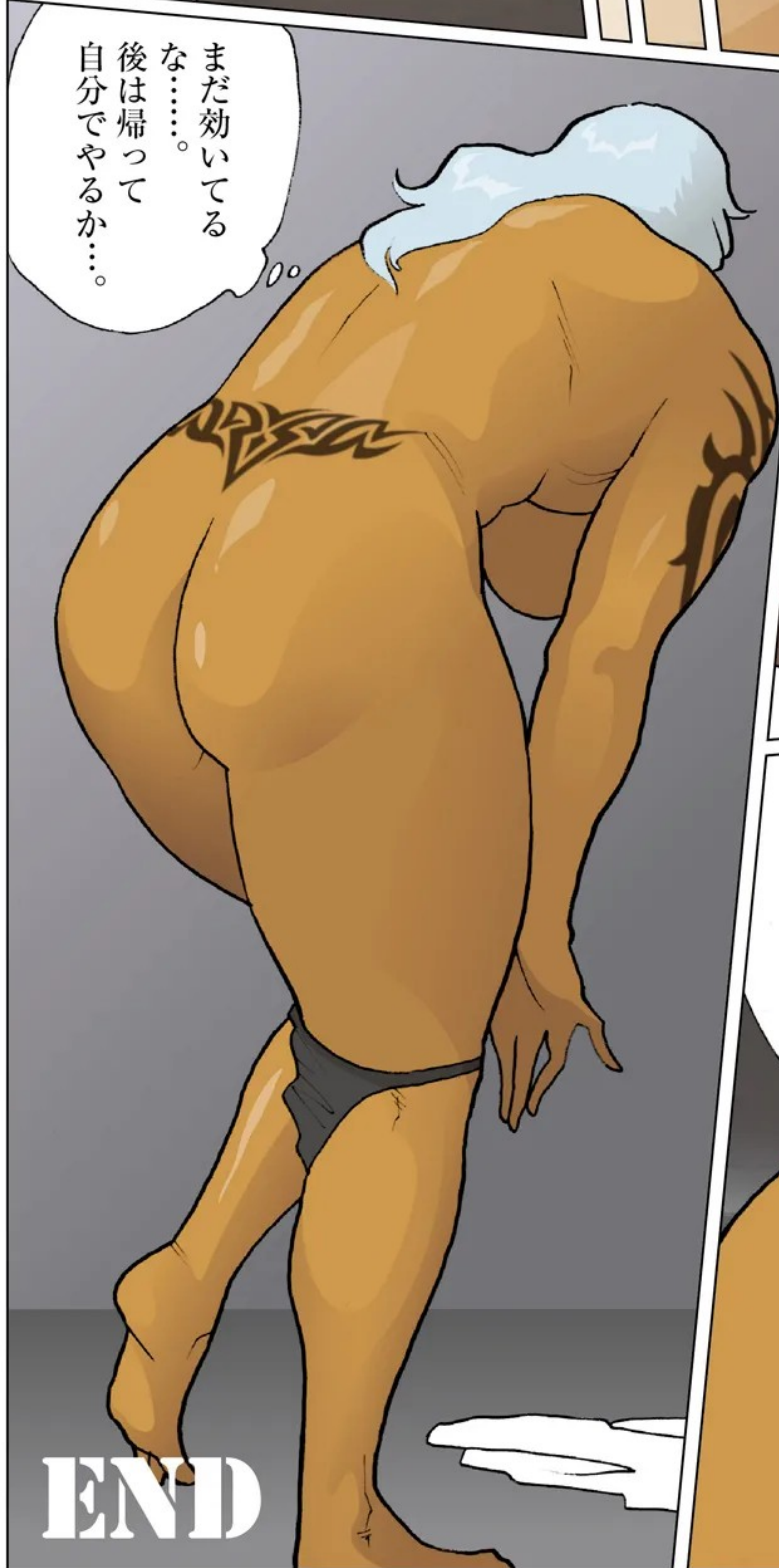
いいよ。
僕らはバディだ。



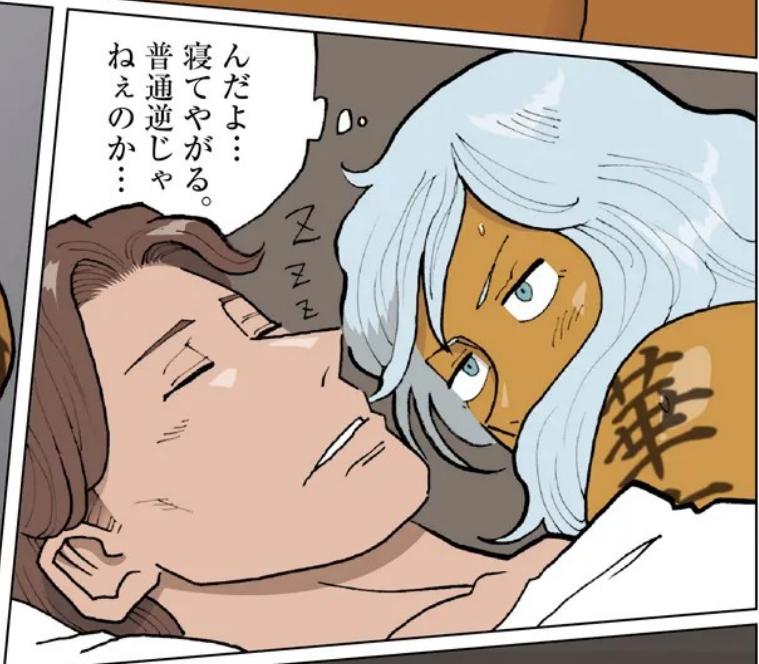


今日は…
悪かったな…。

まあこれで…
関係がギクシヤク
するなんて…??



まだ効いてる
な…。
後は帰って
自分でやるか…。



んだよ…
寝てやがる。
普通逆じゃ
ねえのか…



なんて…
コツチは文句
を言える立
場じゃないよな。
それより…。

END

おまけ絵①

催眠が解け脱出を図る劉美星。
取り囲む屈強な男達を鮮やかに倒していく彼女
だったが、こんな状況でも相手を無傷で仕留めよ
うとする甘さが裏目に出る。すでに薬で強化さ
れた男達はどれだけ昏倒させても起き上がって
襲ってくる。やがて、奮闘空しく多勢に押さえ込
まれ再び捕縛される…。

脱走しようとした事で怒りを買った彼
女は、さらに強めに締め上げられる。し
かも催淫剤を投与されて拷問に等しい
緊縛を強いられた。唯一の弱点である、
色事に免疫が乏しい彼女にとっての地
獄はこれから始まるのである。



おまけ絵②

監禁されたもう一人の地下闘技者、シルビア・ブラッドストーン。
すでに催淫剤を射たれ、性的興奮が最大限に引き上げられたボディに彼女はギリギリの所で抗っていた。そんな哀れな子羊に架せられる、異常者達の余興。

それは…一般の希望者と女子闘技者のワンマッチ。一見参加者の不利に見える催し物だが…片や砲弾の衝撃も吸収する特殊な素材の防護服で固めた素人とダメージどころか自らのフットワークが性感に変わる程の体にされてしまった軽量級の女子。後者の劣勢ぶりは一人目の希望者で露呈する。そしてその後は、彼女に倒錯的な愛情を持つ希望者達の饗宴の場と化した。ついには何処を殴られても絶頂に達するまでになるシルビア。いつ終わるとも知れない惨劇の舞台となった牢獄に、嬌声にも近い悲鳴がいつまでも響き渡った。

